人生は不公平である：公平バイアス

公平バイアスとは、個人の公平を追い求める事によって全体の公平さに対して起こるうる問題の事を言います。

例えば、犯罪。

誰かが強盗をして捕まったとします。あなたは「強盗なんて出来る限り長く牢屋にぶち込め」と言うかもしれません。では、裁判で強盗が「病気の子供が居て、子供の命を救うための手術代を工面するために強盗をする必要があった」と発言したら、あなたはどう思いますか？

強盗の新たな発言を聞いた後に、あなたの中での公平さと言う価値観が変わりますか？「そんな経緯があったなら、少しは刑期を短くしてやるのが公平じゃないか？」と意見を変えますか？

では、この美談に影響を受けた裁判員や裁判官により、刑期が短くなったとしましょう。この美談はメディアにこぞって取り上げられるでしょう。

しかし、この美談はどのような動機を人に与えるでしょうか？「人の感情を動かすような美談があれば犯罪をして捕まっても刑期が短くなる」と言うメッセージになりえませんか？となると、犯罪が増え、社会全体の善良市民が住む社会全体からして不公平になりませんか？

一個人の公平さを追い求めた事によって全体の公平さ対して起こりえる問題でしょう。

公平バイアスの教訓とは： 「個人の公平さよりも全体の公平さを大切にするべき」と言う事です。

例えば、ロクに仕事をしていなかったり、成果を出していない人が上司に気に入られて昇進したとしましょう。まじめに働いていたり、成果を出している人からしたら不公平ですよね？「まじめに働いても、成果を出しても上司に媚びなければ昇進できない」と言うメッセージを全体に対して送りかねないわけです。

そしたら、社員の仕事に対する動機、モチベーションはどうなるでしょうか？

リーダー、組織を指揮する者は公平バイアスを頭に入れて、全体の公平さを考えるべきなのかもしれません。